

2014年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

■前年同期比増収増益となり、中期経営計画初年度目標に対し順調な進捗

売上高	5,376億円	10.3%	増収
営業利益	105億円	6.2%	増益
経常利益	110億円	24.5%	増益
当期純利益	63億円	4.5%	増益

■通期見通しを上方修正、当第2四半期末から復配

資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2013/3末	2013/9末	2013/3末比	
			増減	増減率
総資産	3,992	3,981	△ 11	-0.3%
グロス有利子負債	1,469	1,407	△ 62	-4.2%
ネット有利子負債	864	806	△ 59	-6.8%
株主資本	795	858	63	7.9%
その他の包括利益累計額	△ 250	△ 219	31	-
少数株主持分	214	237	23	10.8%
純資産合計	759	876	117	15.4%
自己資本(注1)	545	639	93	17.1%
自己資本比率(注2)	13.7%	16.0%	2.3pt	良化
ネットDER(注3)	1.59倍	1.26倍	0.33pt	良化

【有利子負債】
グロス有利子負債は62億円の減少。
ネット有利子負債は59億円の減少。

【純資産】
四半期純利益による利益剰余金の積み上げ等により、117億円増加。
純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、93億円増加。
上記の結果、自己資本比率は16.0%、ネットDERは1.26倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

損益の状況

(単位:億円)	2013/3期 第2四半期実績	2014/3期 第2四半期実績	前年同期比		2014/3期 通期	
			増減額	増減率	11/1公表 修正見直し	進捗率
売上高	4,872	5,376	504	10.3%	11,000	48.9%
売上総利益	400	430	31	7.6%	-	-
販売費・一般管理費	301	325	24	8.1%	-	-
営業利益	99	105	6	6.2%	200	52.6%
受取配当金	5	6	1	-	-	-
利息収支	△ 16	△ 15	1	-	-	-
持分法損益	△ 0	1	1	-	-	-
為替差損益	2	14	12	-	-	-
その他	△ 2	△ 2	0	-	-	-
営業外収支	△ 11	4	15	-	-	-
経常利益	88	110	22	24.5%	190	57.7%
特別利益	25	2	△ 23	-	-	-
特別損失	△ 17	△ 5	13	-	-	-
税引前当期純利益	96	107	11	11.6%	-	-
法人税等及び少数株主利益	△ 35	△ 44	△ 8	-	-	-
当期純利益	60	63	3	4.5%	90	69.9%

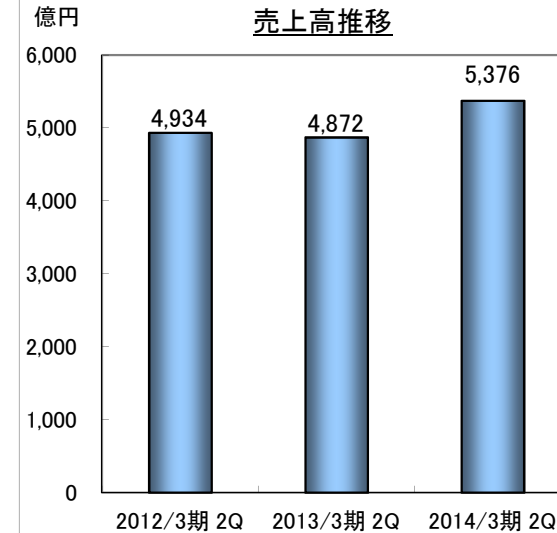
【売上高】
鉄鋼・素材・プラント、食料セグメントの増収を中心に、全体では増収。

【営業利益】
電子・デバイス、食料セグメントで減益なるも、鉄鋼・素材・プラント、車両・航空セグメントで増益となり、増益。

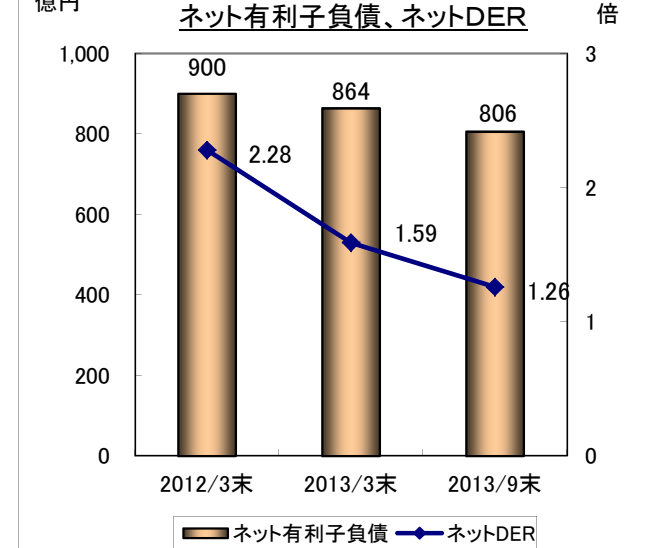
【経常利益】
営業利益の増加に加え、為替差益の増加等による営業外収支の良化に伴い、増益。

【当期純利益】
経常利益の良化に伴い、増益。

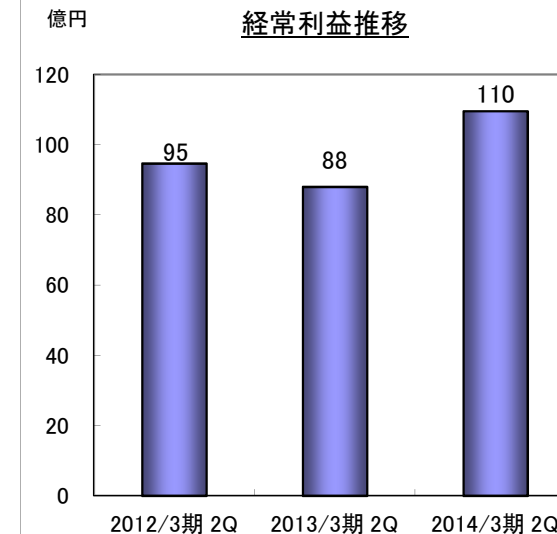
売上高推移



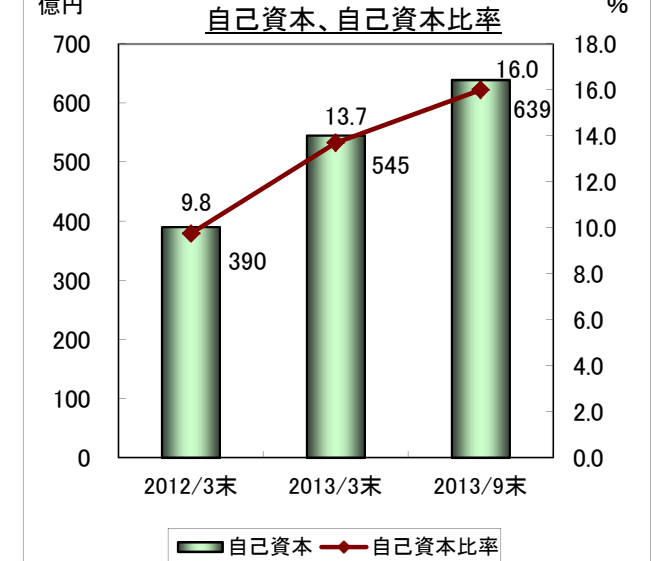
ネット有利子負債、ネットDER



経常利益推移



自己資本、自己資本比率



セグメント情報

(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比 増減	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比 増減
	電子・デバイス	1,141	1,263	122	48	36
食料	1,426	1,567	140	18	15	△ 2
鉄鋼・素材・プラント	2,020	2,220	201	23	39	16
車両・航空	233	290	57	9	12	3
報告セグメント合計	4,820	5,340	520	97	103	6
その他(含む調整額)	52	36	△ 16	2	2	0
総合計	4,872	5,376	504	99	105	6

【電子・デバイス】 増収減益
電子部品・材料事業は、国内外共に需要の伸長に伴い堅調に推移。一方、半導体製造装置事業は、企業の設備投資が停滞しており、低調。ICT・モバイルソリューション事業は、携帯電話事業者間における競争激化の影響を受け、営業利益を圧迫。

【食料】 増収減益
食品事業および畜産事業は、円安の環境下、販売価格への転嫁に時間を要したことで、営業利益を圧迫。食糧事業は、安定的な調達の実現や取扱高の増加により、堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 増収増益
鉄鋼事業は、欧米向けの自動車用特殊鋼取引や、前期に買収した北米油井管加工事業が堅調に推移。エネルギー事業は、重油販売が好調に推移し、化学品事業は、医薬品原料の輸入取引を中心に順調に推移。プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が低調。

【車両・航空】 増収増益
アジア向けの車両ビジネスが全般的に低調だった一方、欧米向けの二輪車部品、国内の航空機部品取引が堅調に推移。

* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。